

第 60 回 信越アマチュア局非常通信コンテスト

【略称：JAφ-OSOコンテスト】

- 【開催日時】平成25年4月13日(土)21:00～4月14日(日)12:00JST時報まで
- 【参加資格】JAφエリア在住の同エリア内で運用するアマチュア局（ゲストオペでの運用は不可）
コンテスト参加中の同一県内での範囲で移動を認める（下記注意事項参照）
- 【電波型式・周波数・空中線電力など】各局に許可されている範囲内（135kHz帯、3.8/10/18/24MHz帯
およびレピータ、衛星通信、VoIP、遠隔操作局は使用不可）でJARLコンテスト使用周波数帯
総務省告示のアマチュアバンド使用区分を厳守のこと
- 【参加種目およびコードナンバー】

参加種目	コードナンバー
長野県 個人局	NNS
長野県 社団局	NNC
新潟県 個人局	NIS
新潟県 社団局	NIC

- 【通信電文】①電文は3種類以上用意し、同一電文を続けて使用しない
②電文の字数はクンレンを含め15～20字とする
③電文はカタカナを使用し、濁点・半濁点は字数に数えない
（数字使用可、アルファベットは使用しないこと）
④非常事態と誤解される恐れのあるまぎらわしい電文は使用しない
⑤和文通話表を用い正確に伝えることが望ましい
- 【交信方法】①呼び出し 電信=CQ JAφ TEST 電話=CQ JAφ コンテスト
②電文の送受 送信開始時刻・コンテストナンバー・電文・送信終了時刻
を送り、同様に相手からも受け、指定のログに記載する

【コンテストナンバー】

RS(T)+001から始まる一連番号（全バンドを通じての一連番号）

- 【得点】①同一局との交信はバンドが変われば有効
②完全な交信に対して1交信を10点とする（採点では送信5点受信5点とする）
③相互のログの照合ができなかった交信については5点とする
④交換した通報のなかに誤字脱字などのミスがあった場合は交信両局の連帯責任として
それぞれ1字につき1点減点、但し5字以上のミスがあった場合その通信は無効とする
⑤通信時刻（開始）、コンテストナンバー、通信時刻（終了）及びサマリーシートも
採点対象とする
⑥総合得点で同点の場合は最終の通信時刻（終了）が早い者を上位とする

【報告書の提出】

- ①様式はJARL制定のものとし、自作の場合は用紙サイズ・印刷方向を含め同形式とする
サマリーシート：A4サイズの最新様式「コンテスト用紙」または同形式を使用
コンテストログ：コンテストログではなくA4サイズの最新様式の
「アマチュア無線局業務日誌（LOGBOOK）」または同形式
②通信時刻（開始）欄にはその電文の送信開始時刻を、（終了）欄にはその電文の送信
終了時刻を24時間制で記入する
③ログへの記載は交信時刻順に記載し、呼出欄には自局の送信電文行だけに○印を記入する

(個人局はバンドにかかわらず交信順に、社団局はログ用紙をバンド別にする)

- ④コンテストナンバーはログのR S T欄に記入する
- ⑤ログ記入時「//」等の記号による省略はせず1交信ごとに必要事項をすべて記入する
- ⑥使用電波の欄には各交信ごとに記入する
- ⑦電文は備考欄に記入する
- ⑧すべてのログ用紙欄外に自局コールサインを明記する
- ⑨各登録クラブに加入している個人局はサマリーシートの登録クラブ対抗の欄に必要事項を記載することにより、クラブ対抗へのエントリーとする
- ⑩電子メールでの提出は、Word, Excel もしくはPDF の添付ファイルによるものとする
(印刷して指定様式になることが条件)
サマリーシートの署名欄には必ず氏名が明記されていること (自署の必要はありません)
e-mail : ja0contest@gmail.com
- ⑪締切 平成25年4月29日(月) 消印有効(郵便以外の方法の場合4月30日必着)
- ⑫提出先 〒943-0648 上越市牧区小川2176 西山 浩平方OSO係
- ⑬書類受付局リストをコンテスト委員会HPに順次掲載いたしますので、締切を過ぎても掲載されない場合はコンテスト委員会までお問い合わせください。

【審査】 J A R L 信越地方本部コンテスト委員会が行う

【発表】 順位は各県の支部大会、J A R L NEWSおよびコンテスト委員会 HP 上で発表

【表彰】

- ①両県を通じて最高得点の個人局には「信越総合通信局長賞」を贈呈(予定)
- ②個人局・・・各県毎上位局に賞状および賞品
- ③社団局・・・各県毎上位局に賞状および賞品
- ④15局以上と交信した参加局に対して賞品を贈呈。但し上位入賞者は除く
- ⑤両県内登録クラブ対抗・・・県別上位クラブに賞状および賞品
- ⑥ジュニア部門・・・平成7年4月2日以降に生まれた方はサマリーシートの意見欄に「ジュニア部門」と記載して生年月日を記入すること。各県毎上位局に賞状および賞品
- ⑦参加証・・・本コンテストの参加局全員に参加証を発行する(但しJARLビューロー経由)
※上位入賞局は7月に予定の各県支部大会の席上にて表彰致します
※入賞局・15局以上交信局への賞品の贈呈は各県支部大会時に限ります
※賞品対象者は平成25年4月7日時点でJARL会員台帳に登録されている方に限ります
- ⑧第60回記念賞・・・第60回開催を記念し、下記の賞を贈呈する。(賞状および賞品)
 - 電文賞・・・本コンテストの趣旨を示す優秀な電文を送信した局、各県から3局程度地方本部長、各県支部長、およびコンテスト委員会にて審査を行う
 - 飛び賞・・・全参加局の得点順で、両県通じて60位の局
(ただし、60位が社団局の場合、上の順位の個人局とする)
- ⑨ハンディー機部門・・・第60回開催を記念し、本部門を設定する。上位局に賞状および賞品
ハンディー機を使用して交信のすべてを行った場合、サマリーシートの意見欄に「ハンディー機部門」と記載して、使用無線機および空中線形式を記入すること。
(審査時に使用設備について問合せさせていただくことがあります。)
本部門におけるハンディー機の定義：
 - ・FMモード、5W以下(マルチモード機はFMモードでの交信とする、出力低減での参加可)
 - ・電源、空中線を含め、運用時の環境(電波が出せる状態)を運用者がすべて身につけて持ち歩き可能であること、ただし電池は途中交換可
(この範囲内で、大型電池からの電源供給、小型ビームアンテナ等の使用を認める)

